

[ 目 次 ]

1999・7

ページ

|                     |   |            |
|---------------------|---|------------|
| SKYLIGHT<br>〈今月の焦点〉 | 太陽コロナの形とオーロラ<br>—磁気赤道上のストリーマー発生位置に関する法則—    | 斎藤 尚 生 344 |
| EUREKA<br>〈研究紹介〉    | 磁場を伴ったフィラメント状分子雲の起源                         | 永井 智 哉 354 |
| 天球儀<br>〈読物〉         | 「ポスター道入門」…巨大ポスターへの挑戦                        | 松田 卓 也 361 |
| シリーズ                | 《 <sup>そらと</sup> 天空翔ぶ天文台(7)》<br>火星撮像カメラ MIC | 稲田 愛 366   |
| 書評                  | The GRAPE Systems                           | 368        |
|                     | 世界最大の望遠鏡『すばる』                               | 369        |
|                     | 西はりま天文台発 星空散歩                               | 370        |
| 雑報                  | 日本天文学会早川幸男基金による<br>渡航報告書                    | 371        |
|                     | 「夏の学校」のお知らせ                                 | 375        |
| 追悼                  | 清水 彊先生を偲ぶ                                   | 376        |
| 寄贈図書リスト             |   | 377        |
| 月報だより               |   | 377        |

[ 表紙説明 ]

「ようこう」衛星の軟X線望遠鏡で1992年6月11日に撮像されたアネモネ型コロナ。同様な構造は1991年10月25日や11月20日等々に頻繁に観測されている。非対称的な東西の明るさ分布にも、磁場極性に従った律儀な法則性がある。単極磁場領域に双極磁場が浮上した場合の磁場構造でよく説明される。小はX線ブライトポイントや、ポーラープリュームの一部、アネモネジェットから、大は大ストリーマーのペアーアーケードに到るまで、トポロジー的に共通な普遍的構造である可能性がある。  
(SKYLIGHT 参照)

(表紙イラストレーション：藤居保子)